



一直線

11月増刊号 狭山市立西中学校 学校だより

学校教育目標

～自主的に考え、
正しく行動できる生徒～

○挨拶 ○清掃 ○素直
文責 校長 平沼 尚

○家庭学習で「学ぶ力」を育てる。

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会ってもくじけずに積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに「生きる力」となって、将来への大きな財産となるのです。

○埼玉県学力学習状況調査質問紙から言える

☆学力を高めるコツ☆

1 「学級の雰囲気」と「学習の様子」に関する相関

○「学級での生活が楽しい」と感じる児童生徒は、落ち着いて学習していると考えている傾向があります。

○自分の居場所があり、安心して生活できる学級は、子供たちの心を安定させ、じっくり落ち着いて学習する雰囲気を醸成します。

2 「学習意欲」と「教科に関する調査」に関する相関

○勉強する理由が「勉強することが楽しい、好きだから」と回答する児童生徒は、教科に関する調査の学力レベルが高い傾向があります。

○「何かが分かるようになった、何かができるようになった」と子供たちが実感することは、学習意欲の向上につながっていきます。

3 「家庭での生活習慣」に関する相関

○テレビゲーム等について「家の人と約束を決めている」と回答した児童生徒は、長時間テレビゲーム等を行うことが少なく、また、家庭学習の時間を確保している傾向がみられます。



なお、長時間テレビゲーム等をしている児童生徒は、教科に関する調査の学力レベルが低い傾向にあります。

○子供たちが自分一人で家庭での学習習慣を作り上げるのは難しいことです。子供たちが生活を見直すきっかけづくりをしていきましょう。

○テレビゲーム等を行う時間について約束するときは、話し合って約束を決めることが大切です。また、約束する必要性についても確認することで、子供が主体的に約束を守ろうとする態度を育むことにつながります。

4 「家庭での様子」と「自己肯定感」に関する相関

○各学年を通じて、「家の人と学校での出来事を話す」と回答する児童生徒は、「自分にはよいところがあると思う」と回答する傾向がある。なお、「自分にはよいところがあると思う」、「どちらかといえば、思う」と回答する児童生徒の割合は、学年が上がっていくと減少していく傾向があります。

○学校での出来事を家庭で話すことで、学習や学校生活を改めて振り返ることができます。

○家庭でも、子供たちが自分のよさに気付くために「いいところ探し」ができるように働きかけていくことも有効です。よさに気づき、よさを伸ばし、よさを活かすことで自ずとウィークポイントも改善されていきます。



★西中生がんばっています！★

税の作文（所沢税務署管内）

狭山市優秀賞：3年 所沢税務署長賞：3年

所沢税務署管内税務連絡協議会会長賞：3年

狭山市農業祭学童農業体験 優秀賞

新体操

新人戦県大会個人：個人総合2位 種目別クラブ2位

種目別ボール2位

吹奏楽部：埼玉県アンサンブルコンテスト地区大会

銀賞：木管8重奏 銅賞：金管8重奏

狭山市綱引き大会：中学女子 一直線ガールズF 第4位



★PTA主催 西中バザー★

11月9日（土）西中バザーが盛大に開催されました。好天に恵まれ、ちょうど良い天候になりました。生徒・保護者・教職員、そして多くの地域の皆様にご来校いただき、大成功のうちに終了しました。

この日の収益を含めたPTA学校協力金は、西中生徒の教育のために大切にに使わせていただきます。PTA役員さんやおやじの会の方々には、早朝よりご協力いただき、誠にありがとうございました。また、学校応援団の平野様には、たくさんの新鮮な野菜を提供していただきました。今年も大人気でした。本当にありがとうございました。